

# みなみたね 議会だより

第4回定例会・第4回及び第5回臨時会

第176号 発行 令和4年2月1日

■発行責任者：南種子町議会議長 広浜 喜一郎

■編集：議会広報編集委員会

■住所：南種子町中之上 2793-1 電話 26-1111

令和3年第4回定例会が12月9日～17日まで開催されました。  
第4回臨時会(11/19)及び第5回臨時会(11/30)が開催されました。

一般質問(3名).....2P～4P

論点(主な条例・補正予算審議から).....5P

防衛省馬毛島基地計画等説明会.....6P～7P

決算認定(第4回臨時会).....8P

決算認定・発議(意見書).....9P

人事・編集後記.....10P

主な内容

【イルミネーション点灯式】町商工会主催 (町観光物産館前広場)

小脇美智代(町広報担当)(令和3年12月18日撮影)

一般質問



濱田 一徳 議員

# 2021年を振り返って

**濱田** 行政の業務で評価すべき点、反省すべき点は何か。

**町長** 町民のために仕事をしする人がいる所が役場であると考えます。新しい取組みへのチャレンジについても色々な国庫補助事業等に積極的に取り組む県下でも高い評価を頂いている。そういった中で3点ほど挙げると、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策への対応について、ワクチン確保、接種対象者の優先順位、接種医療機関との調整、記録・管理等関係機関との協力の下スムーズにできた。2点目はサツマイモの基腐病対策について、職員は処分対策に奔走し、処置対策を講じた。引き続き情報収集に努め、遅滞することなく対策に取り組みたい。3点目は人口減少対策として家族留学後の定住促進のための借家確保対策を推進し、特に定住促進空き家活用事業においては、全国で3カ所のみ認定を受け取組んでいる。その他特定地域づくり事業協同組合の設立に向けた取組み、有機農業を軸とした地域活性化対策等、現在調整中

のものも含め特色ある南種子まちづくりを目指して職員が一体となって取組んだことは評価できると思います。

**反省、検討すべきものとして** 堆肥センター運営の改善策について、今後の実証試験等を含め調査・検討中である。

**また河内温泉センターの太陽熱システム導入に伴う効果** について検証し、さらに検討しなければならぬと考える。

**濱田** 来年度特に力を注ぎたい業務は何か。

**町長** イベントについては、これまで2年間自粛中止をしてきたが、感染症対策、今後の動向を踏まえながら予定されているイベント等についてはしっかりと行って行きたい。また、3回目のコロナワクチン接種、サツマイモ基腐病根絶についても、しっかりと対応していきたい。

**人口減少対策** は一番の課題と思う。定住促進事業と併せて自衛隊の施設誘致対策等正念場を迎えると思っている。

**その他** すべての分野において全職員、全町民の皆様方の知恵を出して頂いて一体と

なって取組んでまいりたい。

## 自衛隊施設誘致に 関して

**濱田** 自衛隊施設を誘致するには、魅力ある町にするための買い物対策。新しい物の吸収ということも種子島スケートボードクラブについて。

**地域おこし協力隊** を中心としたプロジェクトチーム編成についてどう考えるか。

**町長** 買い物については、以前、島外の事業者から共通利用可能な商品を中心に、安価でストックするという提案もあり協議したが、導入に至らなかった経緯もある。今後商工会とも話をしながら一緒に考えていきたい。スケートボードパークについては、前向きに建設の方向で取組みたい。

**未来会議** を含めいろいろな御意見を頂けるような環境が最も重要と思う。今後十分検討させて頂きたいと思えます。

**濱田** 中種子町との連携について。

**町長** 中種子町とは隣町でもあり共通する部分もある。病院関係については協力していくということでも一致している。今後1市2町、協議できる部分があれば、話をしながら進めていかなければと思いは持っている。

## 外来種植物対策について

**企画課長** 緊急防除種の植物は2種類で重要防除種が20種類。一般防除種が49種類ある。広報紙や防災無線等で時期を見ながら呼び掛けた。

## サツマイモの基腐病対策

**総合農政課長** 集荷場所に持ち込まれた数は19戸。7100キロである。残渣処理については、防災無線の活用、個別指導、栽培農家の意識向上を図り、地域ぐるみ対策として行っている。



塩釜 俊朗 議員

## 自衛隊施設誘致について

**塩釜** 議会では種子島宇宙センター事業に影響を与えない事なども要望した。本町には光ブロードバンドも設置しており、通信技術も生かした施設の誘致等いろいろありますが、今後の施設誘致活動としてどのような施設を本町に誘致した方が得策か。誘致している町との連携が必要と思います。町長の答弁を求めます。

**町長** これまでの要望活動等により、本町の協議会を含め町民の方からも御意見を頂いている。防衛省においては種子島全体として考えていくのではないかと思う。隊員宿舎はもちろんであるが、自衛隊基地に関係する施設を何とか本町にも誘致をし、御協力ができるところについては協力していきたい。これまでも島間港のこと、宇宙作戦隊と国が進めている関係については、宇宙センターに影響が及ぼさないようなこと。いろいろとお話がありますが、一自治体では非常に難しい所があると思う。最終的には国がしっかりと

議論されて施設関係については決定されると思う。

近隣の町との連携につきましては、西之表市を含めての現状を見たときに、1市2町で連携をするというのは現段階では厳しい。中種子町においては、公立種子島病院と一緒に運営しており、医師の確保であったり、今後も重要な課題であると思うので、連携が図れるようなことを希望したいし、両町で話をしながらこれまでも要望している。1市2町それぞれの団体、要望がいろいろあると思いますが、今後もしっかりと誠意を持って御要望してまいりたい。

### 農業対策について

**塩釜** キャトルセンター、過去2年間と令和3年9月までの運営状況についてお聞きしたい。

**総合農政課長** 預託頭数については、過去2年間平均で年間299頭で横ばい傾向、今年9月までの預託頭数

150頭で昨年より3頭多い。収支状況については、過去2年間は黒字でありましたが今年度9月までの運営収支状況については、147万9992円の赤字で、セリ市への出荷時期の関係と飼料費の値上がりによるものです。

**塩釜** 畜産農家が減退をしないよう受け皿体制も必要かと思いますが今後の運営については。

**町長** 飼養頭数規模拡大も当然ですが、飼養技術の向上を図るといっては、非常に重要な部分だと思っている。何が足りないのか改善されてきつつありますので、いろんな御意見を頂いた中で体制づくりをしっかりとやってまいりたい。

### 障がい者の雇用対策について

**塩釜** 障がい者の雇用の促進法で法定雇用率は令和3年3月1日から2.6%に引き上げられた。本町の職員数等

で比率から法定雇用率に達しているか達していなければ、今後の対策は。

**総務課長** 法定雇用率の2.6%には達していないので雇用の推進については、職員採用試験での募集を行い、法定雇用率の早期達成に向けた取り組みを進めてまいりたい。

### 公共スポーツ施設の充実について

**塩釜** 前之峯グラウンド観覧席の前に全天候型の走路がある。劣化をしており、ランニング、ウォーキング等に支障を来している。以前にも提案しましたが改修の計画はないか。

**教育長** 外周部分についての全天候型に改修する試算をしたところ照明施設を含めると約5000万円程度かかる。今後町陸上競技協会や利用団体の意見も聞きながら、補助金等の財源等も調査し町当局とも連携して協議してまいりたい。



福島 照男 議員

# 農業の基幹産業としての方向性について

**福島** 現状は後継者不足と高齢化が顕著に進んでいますが、全国的な課題ではありません。本町は本町なりの対策を講じて行くべきだと考えます。特効薬等はありませんから、生産・加工・販売に至る過程の中で、それぞれが知恵を出しながら進むしかないと思います。来年度に向けた方向性を示してください。

**町長** 農業分野における新たな取り組みとして国が打ち出した、みどりの食料システム戦略というのがあり、これに基づくと有機農業の取り組みを遊休農地や荒廃地の活用等を念頭に計画を進めております。

この有機農業を軸とした地域活性化に関する包括連携協定調印式を(有)かごしま有機生産組合、(有)かごしま有機生産組合地球畑、南種子町と3者で12月20日に行うこととしております。有機野菜等については、町内の学校給食とも連動させることができますので、オーガニックなまちづくりのシステムを構築したいと思っております。

## 高齢化農家対策について

**福島** 多くの高齢者が農業を辞めるきっかけは、機械が壊れた時に買い替えてまでが続けられないという理由です。しかし生活の為にはなんらかの農業経営をしなければなりません。これまでいろんな高齢者向け作物の普及を進めて来ましたが、なかなか定着していないのが実状です。ここ数年の内に高齢者農家対策が大きなたまらなくなると予測されます。そこで地元でトウガラシを栽培しているグループがいるとこのことで圃場を見させていただきました。話を伺う中で、軽作業で、収穫期間も長く、高齢者向けではないかということでも取り組んでいられるとのことでした。

これは一例ですが、他にもあると思いますので、高齢者向け作物の研究開発・普及に向けた取り組みを示してください。

**町長** 高齢者でも取り組まれているフェニックスロベリンとかヒサカキ等、また地産地消となるトクミ市場への出品等が行われています。

既存品目の推進と併せて、新たな作物についても十分検討する必要があります。有機野菜についても関係業者の方で取り扱っていただければ話もあり、いろいろ農政の方も調査しながら、高齢者でも取り組めるようなものがあれば今後取り組まなければならぬと思います。

**総合農政課長** トウガラシについては、一緒になった形で試験・実証関係をしているところですが、販売関係の部分等を含めまして研究・調査をしていきます。

**福島** 高齢化に伴って発生してくる農地対策ですが、優良農地については、賃貸借も進みますが、区画の小さい畑や傾斜地ですと大型トラクターや大型機械が入りづらいとのこと。貸賃借が進まない懸念が出てきます。そこで農家負担の少ない小規模の基盤整備事業の導入ができないかお尋ねします。

**総合農政課長** 農業農村整備事業関係では、条件が5万円以上となりますが、議員の言うそれ以下の条件の悪いと

ころとすることになると、土地改良事業以外の分野でも耕作放棄地とかいろんな事業がありますので随時調査を進めていきます。

## 移住定住施策の強化促進について

**福島** 移住者の定住促進事業については、一定の成果が出ていると評価していますが、現状は住宅の需要に供給が追いついていないとの報告が再三あります。非常にもったいない機会喪失であり、この需要がいつまで続くかも解りません。空き家改修制度の更なる充実を求めたいところですが、予算にも限界があります。そこで民間からの供給活用が重要となつてきますが、民間に対してのこの制度に準じた助成制度の運用が出来ないものかお尋ねします。

**町長** 民間事業者等が建築をした住宅を、町が一定期間借り上げるといった対策が出来ないか現在調査研究をしています。既に島外企業も含め民間事業者へ呼びかけ、そういう制度設計が出来ないか検討しているところです。

# 論

# 点

## 予算

### 【第4回臨時会】

#### 令和3年度一般会計補正予算 (第7号)の審議から

**質疑** 今後3回目のコロナ感染対策のワクチン接種をどう進めるのか。

**答弁** 3回目接種を行っていく方向で今回予算を計上します。公立種子島病院とも連携を図り国の動向もみて計画的に実施してまいります。

**質疑** サツマイモ基腐病関連予算について、発生状況と補正予算の用途について。

**答弁** 発生状況ですが、5段階で中程度までの被害が、41割、中程度以上の被害が、22割です。平均で39.6割の被害です。予算の用途については、まん延防止対策のための残渣持ち出し場所の確保に要する重機借り上げ料

です。

**質疑** 基腐病は、地下水汚染などの心配はないのですか。

**答弁** 残渣処理を行う場所については、隣接地に人家や畑のない影響の少ない場所を選定しております。

### 【第5回臨時会】

#### 令和3年度一般会計補正予算 (第8号)の審議から

**質疑** 子育て世帯への臨時特別給付金の支給対象者は。

**答弁** 予定数ですが、中学生以下が、650名、高校生が120名で計上しています。

## 条例

### 【第4回定例会】

#### 南種子町国民健康保険 条例の一部を改正する 条例制定について

##### 改正内容

出産育児一時金の額を、4千円増額して40万8千円に改正するものです。

**質疑** なし

## 予算

#### 令和3年度一般会計補正予算 (第9号)の審議から

**質疑** 公立種子島病院への負担金の増額提案の理由は。

**答弁** コロナ感染対策で、病室2室に減圧装置を設置して増床を行い患者受け入れ体制の拡充を図るものです。今後の対策として、中種子町と折半して負担しております。

**質疑** 公営住宅建設事業費で、建替住宅の敷地造成ですが、余剰地は発生しないか。

**答弁** 大川団地敷地造成予算です。今回2棟建設予定ですが、将来的な建設も考えて余剰地を確保してまいります。

#### 令和3年度南種子町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算 (第3号) 審議から

##### 補正概要

今回の補正は、予算の総額に歳入歳出543万5千円を追加し、総額8億8千586万7千円とするものです。

**質疑** なし

#### 令和3年度南種子町介護保険特別会計補正予算 (第3号) 審議から

##### 補正概要

今回の補正は、予算の総額に歳入歳出362万1千円を追加し、総額7億4千731万3千円とするものです。

**質疑** なし

#### 令和3年度南種子町後期高齢者医療保険特別会計補正予算 (第2号) 審議から

##### 補正概要

今回の補正は、予算の総額に歳入歳出43万8千円を追加し、総額8千814万8千円とするものです。

**質疑** なし

#### 令和3年度南種子町水道事業会計補正予算 (第3号) 審議から

**質疑** 10月から水道使用料金を改定したが、下期の収益見込みはどうか。

**答弁** 10月分の実績ですが、122万円程度前年度比較で増収しています。11月分については、240万円前年度比較で増収しています。



# 自衛隊誘致に関する防衛省からへの議会説明会 結果について

南種子町自衛隊施設誘致調査特別委員会

令和3年12月20日(月)に防衛省から馬毛島に自衛隊基地ができた場合の交付金等の説明がありました。資料の中から一部抜粋してお知らせします。

## 交付金・補助金について

馬毛島における自衛隊施設の整備に伴い、交付される可能性のある交付金・補助金について、他の地方公共団体の活用の例もご紹介しながら、ご説明します。

### ■交付金・補助金の交付対象・時期・額

馬毛島における自衛隊施設の整備に伴い、施設周辺の地方公共団体に対し、それぞれの事情に応じて、以下の4つの交付金・補助金を交付できると考えています。これらの中には、施設の運用開始前から交付可能なものや、用途に制限のないものもあります。



写真はすべてイメージです

## 1 再編交付金

米軍再編により生じる影響を受ける市町村において、住民の生活の利便性の向上等に寄与する事業を行うことが、米軍再編の円滑かつ確実な実施に資するため必要と認められる場合、その事業に係る費用に充てるものとして交付するもの。  
※交付に際しては、再編関連特定防衛施設及び再編関連特定市町村として指定が必要になります。

- 1 対象** 公共施設の整備のほか、医療・福祉事業や、各種イベント開催、農業・漁業の振興等、幅広い用途に活用できます。
- 2 時期** 馬毛島の施設整備に関する調査・検討の段階から、交付可能です。
- 3 金額** 再編による影響の程度・範囲等を考慮し、再編の進捗状況に応じて、交付額を決定します。

## 2 民生安定助成事業補助金

防衛施設の設置・運用により、周辺地域の住民の生活又は事業活動の阻害が認められる場合、その障害を緩和するために地方公共団体が行う施設整備に係る費用の一部を補助するもの。

- 1 対象** 公園や農業・漁業用施設等、防衛施設により生じる障害の緩和のために、地方公共団体が計画する施設整備費用の一部を助成します。
- 2 時期** 原則、馬毛島の施設の運用開始以降、交付されます。
- 3 金額** 地方公共団体の事業計画に応じて、施設の種類毎に規定された補助率及び上限額に基づき、交付額を決定します。

## 3 特定防衛施設周辺整備調整交付金

ジェット機の離着陸等が実施される防衛施設の設置・運用による影響の程度等を考慮し、市町村が行う生活環境の改善等の事業に特に配慮を要する場合に、市町村が行うこれらの事業に係る費用に充てるため、当該市町村に交付するもの。  
※交付に際しては、特定防衛施設及び特定防衛施設関連市町村として指定が必要になります。

- 1 対象** 公共施設の整備のほか、医療・福祉事業や、各種イベント開催、農業・漁業の振興等、幅広い用途に活用できます。
- 2 時期** 原則、馬毛島の施設の運用開始以降交付されます。
- 3 金額** 防衛施設の設置・運用により生じる影響等を考慮して交付額を決定します。

## 4 国有提供施設等所在 市町村助成交付金(基地交付金)

自衛隊及び米軍が使用する飛行場等の用に供する固定資産が所在する市町村に対し、固定資産税の代替的性格を基本として交付されるもの。

- 1 対象** 用途が制限されない一般財源として交付されます。
- 2 時期** 馬毛島の施設の運用開始以降、交付されます。
- 3 金額** 国有財産(飛行場等)の資産価格等を基に交付額を決定します。

### ▼参考 交付期間のイメージ

調査・検討

工事

施設の運用

1. 再編交付金

2. 民生安定助成事業補助金

3. 特定防衛施設周辺整備調整交付金

4. 基地交付金

## 種子島の施設整備

自衛隊馬毛島基地を整備するにあたっては、種子島において、自衛隊馬毛島基地の一部として、馬毛島の施設の安定的な運用及び適切な維持管理を目的とした施設を整備することとしています。  
今後、関係機関等との調整を経て、決定していくこととなります。

### 安定的な運用・適切な維持管理のための施設

中種子町には、管理事務所、練成訓練施設、物流倉庫を、南種子町には、車庫、車両整備工場、自衛隊ヘリポートを整備する予定です。  
今後、これらの施設の設置場所等について検討を進めていきます。

#### ■管理事務所

種子島における業務のために使用するほか、悪天候時に馬毛島に渡れない場合における基地機能の維持及び施設管理等のために設置。

#### ■練成訓練施設

自衛隊員の練成訓練、悪天候時に馬毛島に渡れない場合における活動拠点のために設置。  
また、地域住民との交流の場としても活用。

#### ■物流倉庫

応急資機材の保管や種子島において調達した資材や食料品の一時的な保管のために設置。

#### ■車庫

通勤車両など、種子島において使用する自衛隊車両を保管するために設置。

#### ■車両整備工場

通勤車両など、種子島において使用する自衛隊車両の維持管理のために設置。

#### ■自衛隊ヘリポート

人員や物資の輸送のために設置。

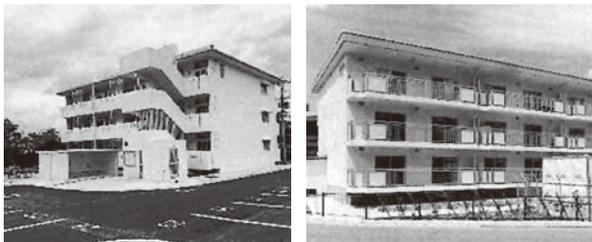
### 宿舎・港

自衛隊馬毛島基地に恒常的に勤務する自衛隊員は、150名～200名程度を見込んでおり、自衛隊員とその家族は、種子島に整備する宿舎に居住することとしています。



#### ■自衛隊員等の宿舎の配置

- 宿舎は、西之表市、中種子町、南種子町に配置する計画です。
- 具体的な設置場所等は、種子島内での用地調査をもとに、部隊運用、交通の便、周辺環境などの様々な条件を考慮し決定します。



写真はすべてイメージです

#### ■港の活用

- 通勤のために、種子島～馬毛島間を運航する定期便を、民間業者に委託する予定です。
- 中種子町の浜津脇港は、種子島の中央に位置し、宿舎との位置関係等を踏まえ、通勤港として活用したいと考えています。
- また、港の利用状況に応じて、西之表港などの港も活用する計画です。



写真はすべてイメージです

将来、種子島内に、多くの自衛隊員とその家族がお世話になります。  
島民の皆様とより良い関係を築いていきたいと考えています。

# 令和2年度決算認定

令和2年度一般会計並びに特別会計（3会計）・水道事業会計の決算認定は9月定例会で決算審査特別委員会に付託され、10月12日から15日までの4日間、各課等の決算状況の審査を行い15日に町長・副町長・教育長・総務課長の出席を要請し、総括質疑を行った。

## 審査の基本方針

- (1) 予算が議決した趣旨と目的に従って適正かつ効率的に執行されたか。
- (2) それによってどのような行政効果が発揮されたか。
- (3) 公の施設の活用・管理は適正にされているか。
- (4) 基金等の運用管理は適正か。
- (5) 令和元年度決算認定における要望・意見及び令和2年度予算議決に対する意見がどのように処理され、反映されたか。

## 歳入

歳入の審査にあたっては

- (1) 町税・使用料等の徴収がよくされているか。
- (2) 補助金が適期に確保されているか。
- (3) 町債が確保されているか。
- (4) その他の収入確保は十分であったか。

以上の視点で審査にあたった。

## 歳出

歳出の審査にあたっては

- (1) 支出が適法・適正にされているか。
- (2) 不用額は妥当であるか。
- (3) 予算流用・予備費充用は適正にされているか。
- (4) 補助金の効果はあがっているか。

## 審査の結果

その結果、令和2年度一般会計、国民健康保険事業勘定特別会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療保険特別会計、水道事業会計の決算認定は、委員会で採決の結果、これを認定すべきものと決定しました。

### 一般会計

1. 歳入総額	65億2,232万1,250円
2. 歳出総額	64億8,575万0,799円
3. 差引残高(1-2)	3,657万0,451円
4. うち翌年度へ 繰越すべき財源	566万8,000円
5. 実質収支額(3-4)	3,090万2,451円
6. 基金繰入額	1,600万0,000円
7. 翌年度繰越額(5-6)	1,490万2,451円

### 国保特別会計

1. 歳入総額	8億6,295万9,162円
2. 歳出総額	8億5,720万7,804円
3. 差引残高(1-2)	575万1,358円
4. うち翌年度へ 繰越すべき財源	0円
5. 実質収支額(3-4)	575万1,358円
6. 基金繰入額	575万1,358円
7. 翌年度繰越額(5-6)	0円

### 介護保険特別会計

1. 歳入総額	7億0,108万6,639円
2. 歳出総額	7億0,041万5,477円
3. 差引残高(1-2)	67万1,162円
4. うち翌年度へ 繰越すべき財源	0円
5. 実質収支額(3-4)	67万1,162円
6. 基金繰入額	0円
7. 翌年度繰越額(5-6)	67万1,162円

### 後期高齢者医療保険特別会計

1. 歳入総額	9,088万8,838円
2. 歳出総額	8,988万0,253円
3. 差引残高(1-2)	100万8,585円
4. うち翌年度へ 繰越すべき財源	0円
5. 実質収支額(3-4)	100万8,585円
6. 基金繰入額	0円
7. 翌年度繰越額(5-6)	100万8,585円

**水道事業会計**

1. 総収益	2億7,296万3,183円
2. 総費用	2億7,496万2,491円
3. 差引残高	△199万9,308円

(※差引残高については、翌年度繰越欠損金として処理。)

**令和2年度 財政状況**

令和2年度末町債残高	62億0,736万3,619円
基金残高	23億1,245万8,641円
公債費比率	11.5% (前年度 12.2%) 【※1】
将来負担比率	30.4% (前年度 36.3%) 【※2】

※1 比率が低い方がよい。18%以上になると町債発行に国の許可が必要。早期健全化基準は25%。  
 ※2 比率が低い方がよい。早期健全化基準は350%。

**町執行当局への申し入れ事項**

- ① 一般会計及び特別会計並びに水道事業会計の歳入における収入未済額は、町民税をはじめ多岐にわたっており、総額1億円を超える額となっている。この中には、回収不能と推測される債権等もあり、収納率低下の原因になっていると思われる。適正な不納欠損処分等を行うことで、収納率の向上対策を図り交付税等の算定にも影響を及ぼさないことが肝要と思われる。速やかな関係条例の整備制定を行い、適正な債権管理に努めること。

**決算審査特別委員会**

委員長	柳田 博	委員	廣濱 正治
副委員長	名越 多喜子	〃	福島 照男
委員	大崎 照男	〃	濱田 一徳

**意見書発議状況**

【令和3年第4回定例会】

発議番号 (発議者)	件名	要旨	提出先
発議第8号 (総務文教委員会)	自衛隊による離島からの救急搬送体制の維持を求める意見書の提出について	急患搬送を担う海上自衛隊鹿屋航空基地内分遣隊が2022年度末で廃止されることから、自衛隊による離島からの救急搬送体制が引き続き維持できるように関係機関に強く要請する。	衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 防衛大臣
発議第9号 (総務文教委員会)	離島振興法の改正・延長を求める意見書の提出について	昭和28年に「離島振興法」が制定され産業基盤の整備等が推進されてきたが、現行法が、令和4年度末をもって失効するため、その抜本的な改正と延長を求めるために関係機関に強く要望する。	衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 国土交通大臣 内閣官房長官

# 人事

固定資産評価審査委員  
任命

岩坪 勝則(64歳)

南種子町中之上2512番

地

昭和32年5月14日生



岩坪 勝則氏



ホームページの閲覧に  
ついて

左の二次元コードをスマー

トフォンなどで読み取ると南

種子町議会の議会だより(平

成27年3月発行分以降)と定

例会の会議録(平成27年第2

回定例会分以降)の閲覧がで

きます。是非ご活用ください。

議会だより



会議録



## 議会を傍聴してみませんか

町民の皆様には、町議会の活動や町政の進め方などをよく知っていただくために、多くの方に傍聴していただきたいと考えています。

傍聴するときは、傍聴者名簿に住所・氏名・年齢を記入するだけで傍聴できます。

町議会の定例会は、年4回(3月・6月・9月・12月)開催されています。開催日が決まりましたら防災無線でお知らせいたします。

詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

☎26-1111 (内線280・281)

## 編集後記



町民の皆様におかれまして

は、新年を迎え新たな目標と

決意に向かって、日々歩き始

めていることと拝察いたしま

す。

落ち着きを見せていた新型

コロナウイルスも新たな変異

株の出現により、まだまだ油

断できない状況にあります。

しばらくはコロナ対策を行

ながらの生活や経済活動にな

りそうです。

昨年は台風の襲来も無く、

農作物はほぼ豊作となりました

たが、甘藷については一昨年よ

り基腐病による被害が拡大

し、明暗が分かれる結果とな

りました。町としても、県や国

に早急な対応策を要請してい

ますが、自分達に出来る予防

策も大変重要です。今一番苦

しい時ですが、しっかりと対策を

行いなんとしても乗り越えな

ければなりません。

12月議会において、現行の

離島振興法が令和4年度末

をもって失効することから、抜

本改正の上、恒久法化も視野

に入れて延長されるよう、強

く要望する旨の意見書を国に

提出いたしました。本町の様

な離島においては、社会資本

整備の充実には欠かせない重

要な法律です。

2月は一番寒い時期、体調

に気をつけながら日々笑顔で

春を迎えたいものです。

議会広報編集委員会

(文責)福島 照男

